

## 概要

二見湾定地水温(図1)は、2月は、1年で最も低くなる月ですが、中ごろに、平年よりもやや低めの日が続きました。月平均水温は19.9で、平年よりも0.2低いという結果でした。図2は、2008年の推移です。赤色は平年よりも高く、水色は低い期間です。1月は、1ヶ月間以上も平年よりも高めで経過しました。原因は、図3の海面高度計偏差図の通り、暖水渦に広く小笠原周辺は覆われていたためだと思われます。その後、夏場の7月の終わりから8月中旬にかけて高く、9月下旬から、10月上旬、11月上旬も平年よりも高い期間が続きましたが、年間平均水温は、24.1で平年よりも0.2高いという結果でした。図4は、父島と母島の比較です。ほぼ同じような傾向を示していることが分かります。しかし、8月上旬に、父島で高く、母島では低い期間がありました。海面高度計偏差図より、その頃、母島だけ西沖に存在した冷水渦の影響を受けていたと考えられます。なお、興洋の定線観測はドックのためお休みです。

・二見湾定地水温(毎日午前中1回、父島二見湾内青灯台にて1984年から表層水温を測定 測定機器:SATO SK-250WP)



月平均  
19.9  
過去平均  
20.1

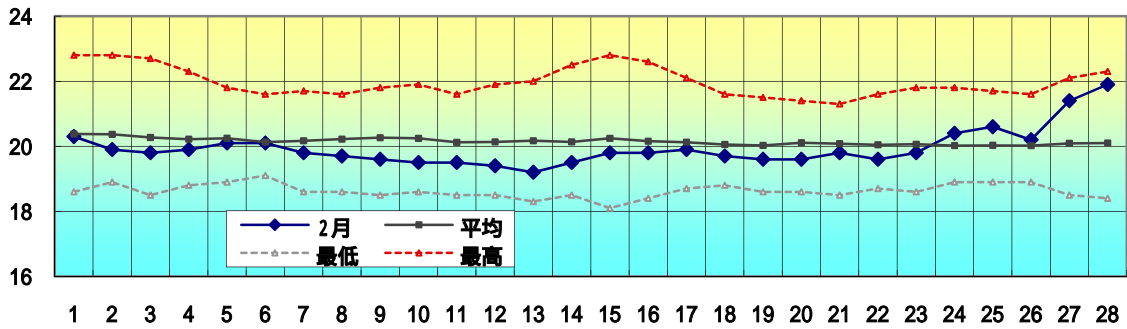


図1 2月の定地水温推移

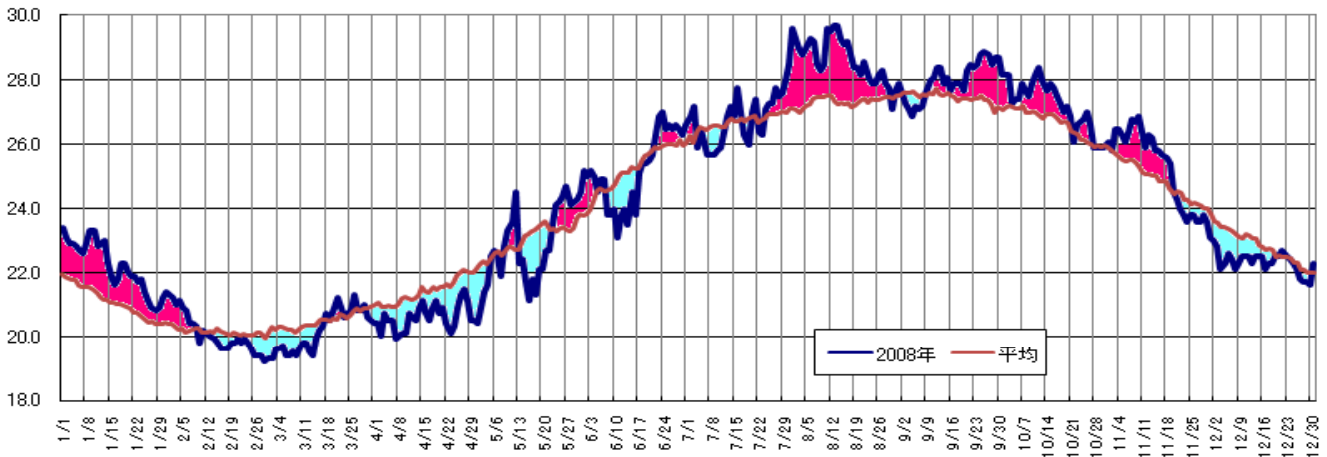


図2 2008年定地水温の推移

Real-Time Mesoscale Altimetry - Jan 10, 2008

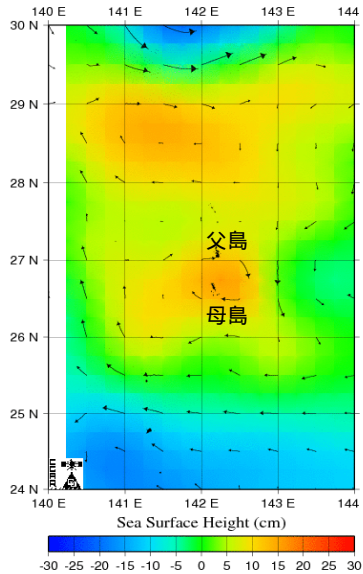


図3 海面高度計偏差図2008年1月10日

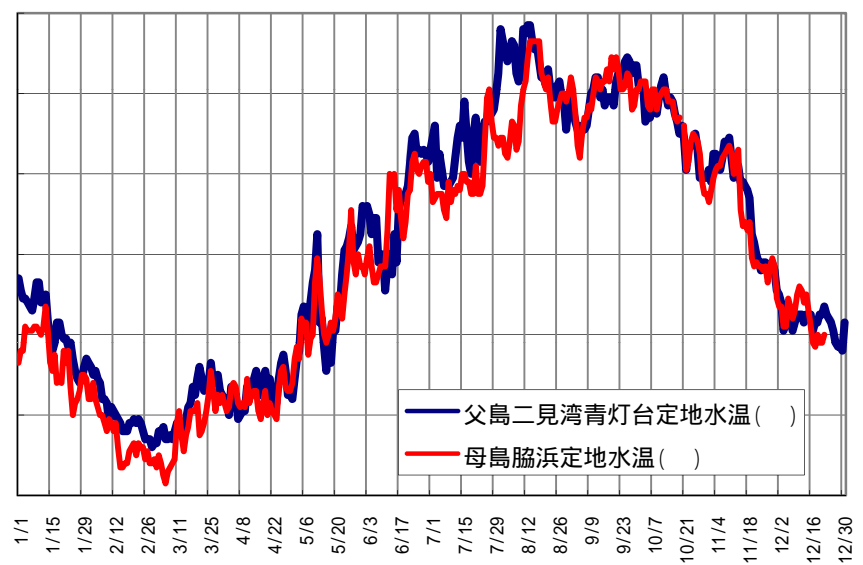


図4 父島と母島の比較

バックナンバーは下記で公開中

<http://www.ifarc.metro.tokyo.jp/26,1322,53.html>